

発行所 愛知県山岳連盟
発行人 伊藤 智彦
編集人 中平等 新一
名古屋市中平区中平3-1902
TEL&FAX 052-802-8062

◆ 5月28日(日) 読図講習会・実技 (猿投山周辺)

http://aichi-sangaku.main.jp/

令和5年度定時総会開催
一般社団法人設立に向けて

愛知県山岳連盟令和5年度定時総会が、4月15日(土)14時から名古屋工業大学3号館2階大会議室とWebのハイブリッド会議で行われ、次の事項について審議されました。

- 1. 出席者
[対面] 伊藤会長、星副会長、北村理事長、岩瀬副理事長、木田(光)、高木、中川、栗木、石川、倉、谷澤、木田(陽)、多田、宮森、今泉各常任理事、織田、湯川、島、鈴木絵、三嶋、桐山各理事
[Web] 西山監事、佐橋(常任理事)、相山(常任理事)、鈴木重、吉田晃、田邊、田中、菅沼、吉川、稲葉、須澤各理事
2. 会議成立状況報告
岩瀬副理事長より、役員総数66名に対し41名の出席および委任状提出があり、愛知県山岳連盟規約第4章第19条の総会の成立に必要な役員の数分の1以上を満了し本総会は成立すると報告があった。
3. 議長選出
議事に先立ち、愛知県山岳連盟会長の伊藤智彦氏が議長に選出された。
4. 議題
(1) 各部委員会の報告
各部の責任者から令和4年

度の実施事項の説明があり承認された。三嶋理事より財産・備品リストに新規購入のPCを掲載すべきと指摘をいただいた。
(2) 令和4年度 決算報告および監査報告
谷澤常任理事より報告があり承認された。
(3) 令和5年度 事業計画(案)および予算(案)
各部の責任者から、令和5年度の事業計画および谷澤常任理事より予算案の説明があり、承認された。
(4) 役員の実況と異動
北村理事長より役員の実況と異動について報告があり承認された。
(5) 一般社団法人設立に向けて

北村理事長より一般社団法人への移行について説明があり、意見交換を経て承認された。主な意見、質疑は次の通り。
・法人化については事業の内容に応じたメリットをよく吟味する必要があるが、愛知岳連は大きな組織であるので、JMSCAの法人化要請にこたえざるをえないと思う。
・団体数、会員数の減少傾向を踏まえ、トレランや山スキ

ーなど新しい競技の団体が立ち上がっていく場面で愛知岳連が積極的に取り込んでいきたい。
・愛知岳連は法人に移行するものの傘下の団体は法人化を要しない。
・新法人設立後に愛知岳連を解散するか?
↓新法人設立後に愛知岳連は資産等を引き渡しして解散のための総会を開催する。

◎令和5年度役員は次の方々です。
(事務局 今泉 卓巳)

- 参与 尾上 昇 (JAC)
顧問 中平等新一 (やまびこ)
監事 安藤武典
西山秀夫 (東海白樺)
伊藤智彦 (高体連)
副会長 星 一男 (JAC)
▽常任理事
理事長 北村憲彦 (春日井)
副理事長 岩瀬幹生 (蒲郡)
指導 鈴木清彦
指導企画 木田光彦 (アイシン)
高木 宏 (GSA)
中川邦仁 (名古屋)
有富保之 (名古屋)
栗木洋明 (岩倉)
石橋秀男 (高体連)
佐原晴人 (高体連)
倉 要 (愛知スポ)
谷澤昌夫 (トヨタ)
多田純一
今泉卓巳
宮森千治 (やまびこ)

- ▽各団体理事
伊藤智彦 (高体連) 木田光彦 (アイシン) 井戸田稔 (イノアックコーポレーション) 鈴木重光 (岡崎山岳会) 岩瀬幹生 (蒲郡山岳会) 吉田晃 (春日井山岳会) 市橋隆文 (中央アルパインクラブ) 伊藤敦彦 (中央アルパインクラブ) 田邊康浩 (トヨタ自動車) 吉田広平 (豊田自動織機豊友会) 坪井建樹 (豊田山岳会) 河合芳尚 (豊川山岳会) 水野起己 (東海電々山岳会) 田中悠太 (名古屋山岳会) 丸太恒樹 (名古屋山の会) 森広忠 (名古屋グールツペハイジ) 石原博之 (名古屋渓稜会) 森辰男 (名古屋登稜会) 方田智貴 (デンソー) 鶴田勝己 (ブラザー工業) 島航太郎 (碧稜山岳会) 植木春江 (三菱電機名菱会) 島山大樹 (三菱重工名古屋) 鈴木絵美子 (JAC) 田中芳晴 (名古屋こもれび会) 菅沼隆司 (安城山岳会) 朝賀敬一 (名古屋ACC) 櫻井孝憲 (愛知学院大学学士山岳会) 羽田明史 (G・S・A) 吉川慶 (千種アルパインクラブ) 酒井悠介 (MMC岡崎) 稲葉真英 (犬山山岳会) 三嶋信 (やまびこ) 片田保彦 (岩倉山岳会) 西山秀夫 (東海白樺) 中村久 (名古屋愛山会) 辻雅彦 (フェアリールッククラブ) 石原寛之 (チーム猫屋敷) 須澤篤 (愛知スポーツクライミングクラブ)

# 令和4年度雪上技術講習会

## ③コースに分け充実した内容

令和4年度の雪上技術講習会が、2月25日(土)奥美濃・大日ヶ岳で実施された。

今回は、コロナ禍のため日帰りの講習会となり、参加者はAコース3人、Bコース4人、Cコース3人、指導員7人の計17人でした。

天気は晴れていたが稜線は風が吹いており寒い一日でした。各コースの講習内容は次のとおりです。

〔Aコース〕午前 雪山装備の説明、雪上歩行(登山靴、アイゼン、ピッケル、ワカン)、読図、ルート維持の説明  
午後 チーム登山(大日ヶ岳ピストン)、埋没者の掘り出し、ビバークの説明、滑落停止

〔Bコース〕雪上での支点作成方法・強度の確認(雪上の枝先、ピッケル、スノーバー、土嚢袋、スノーボラード)、スタンディングアックスピレイ実践練習(衝撃荷重に耐える姿勢、墜落者を止めた後の自己脱出方法)、懸垂下降スタカット登攀(シミュレーション訓練)、シエルター作成(縦穴式、スノーマウンター)〔Cコース〕ビーコンゲルト、プチェックス、雪崩埋没者捜索救助の流れ、ビーコン操作、ブローピング、掘り出し、シ

ミュレーション訓練

参加者は少なかったですが、受講生にとつては充実した講習会になったと思います。次回はテント泊での講習会ができたらと思います。

(指導部・高木 宏)

### 講習会に参加して

#### 雪山の読図学ぶ

やまびこ山想会

森崎 幸子

Aコース雪山登山の基本を学ぶコースを受講しました。

先ずは自己紹介をし、ゲームを交えながらコミュニケーションを取りやすい雰囲気を作っていました。これはチームとして大事なことで、メンバー全員がリーダーシップを意識し、チームを良い方向へ導くことができる発言・行動ができるようにするためだそうです。例えば自分の体調が悪くなってきたとき、早めにメンバーに伝える事により行動不能からのビバークを避けることができればリーダーシップを発揮したという事です。

また地図読みの練習では、山頂まで雪山ならではのルートを考え、等高線の密度の確

認、進むべき方向(角度を地図に書き込む)を確認し、実際に歩くことにより答え合わせをしていきました。地図上の角度と、実際に進むべき目標物が一致していたことは自信にもなり、ホワイトアウトの時にも磁石を使用しました。に進める事がわかりました。終日、講師の浦川さんの穏やかながら、的確な指導を受けることができて大変有意義な講習会でした。

#### 雪山での支点構築

名古屋山岳会

馬場 圭

Bコースは、雪上での確保と支点を勉強するという事で、岳連指導員の高木さんより指導を頂きました。

まず、各種支点の構築方法として、木の枝をスリングでいかに強い支点にするか、各種デッドマンの作り方を教えて頂きました。

雪上という不安定な場所でも、いかになるべく強い支点を作り上げるかを、原理とともに詳細に教わる事ができ大変勉強になりました。また、スタンディングアックスピレイを実際に衝撃をかけての体験や、一通り説明が終わったあと、実際に懸垂下降で降りてピッチクライミングを行い、習った方法を試しなが

### 登山勉強会

#### 第5回「雪上歩行と滑落停止」

22年度第5回登山勉強会テーマ「雪上歩行と滑落停止」が、2月14日(火)19:30からweb会議形式で開催されました。講師は指導部・高木宏氏で、冬山技術講習会(場所・大日ヶ岳)の初級コース事前勉強会として講義していただき、事前に資料がメール配信されたので、講義がよりわかりやすいものとなりました。

最初に冬期雪上歩行に必要な用具(冬用登山靴・ピッケル・アイゼン・ワカン・スノーシュー)について説明されたあと、雪上での技術について①つば足歩行、②アイゼン歩行、③ピッケルワーク、④初期制動、⑤滑落停止について写真や絵も交えて説明されました。例えばアイゼン歩行・斜下降/トラバース・方向転換とそれぞれの場合につ

直近の山行で感じていた疑問点などが解消でき、実践を通して身に付けられ、大変有意義な講習であったと思いました。

いて丁寧に解説されました。

最も重要なことは「初期制動」であると強調されました。滑落停止の前、とにかく滑り始めないことが大切で「スリップと同時にピッケルのピック又はスパイクを打ち込む」「ピッケルがなければ、腹這いで腕で輪を作り雪を抱え込む、足は開いて靴のインサイドエッジで雪面にブレーキをかける」等、滑り始めないようにできる限りの努力をするとのことでした。

基本的には「転ばないこと」が一番で、転ばないために足裏全体で雪面を捉えるフラットフットイングなど雪上での技術が必要となりますが、アイゼンの爪をひっかけて、アイゼンに雪がだんごにつくなども転ぶ原因となりやすいとのことでした。

また、参加者の方々のレベルが高く「滑落して止まったあと、また滑落したら困るので足場を作ってから次の行動へ」というお話など様々な意見が聞けたのも参考になりました。

### 第6回「雪崩搜索救助」

22年度第6回登山勉強会テーマ「雪崩搜索救助について」が3月14日(火)にWebexを使ったweb会議形式で開催された。講師は内田雅人氏(山岳コーチ2)で、ジムスカの講習を受けての講義である。①雪崩ビーコンの仕組み、②雪崩ビーコンの操作、③プローピング、④掘り出しについて説明後、その内容を1〜2分の動画で実際に観るので大変わかりやすかった。雪崩の死因の45%は窒息で、完全埋没者の生存率は15分経過後から急激に落ちる。しかし、警察や救助隊が15分以内に来ることは無理なので、現場の人が素早く対応することが重要となる。そこで、今回の勉強会の目的は「冷静にスピード感をもって救助活動ができるようになる！」であった。

ビーコンは、素早い搜索が可能な3本アンテナを扱うこと。搜索・救助の流れは、「初動」→「搜索」→「救助」→「総括」となる。まず、初動で全体の状況を把握する。安全のためハザードとリスクの評価をし、どのような搜索活動を実施するか構築する。現場指揮者を決めることも重

要である。「搜索」は、「残留物サーチ」とシグナルサーチ」→「コーササーチ」→「ファイナリティとピンポイントイング」という3段階で進んでいく。ファイナリティの前にスキーやアイゼンをはずす。ビーコンを膝の高さで一定に保ち、最小値が出た場所に目印をつける。ピンポイントイング(プローブ・位置特定)は、最も強く反応した地点を中心にやる。ヒットしたらプローブを残置する。斜面に対して90度の角度でまっすぐ差し込むことが重要。みつけたら掘出しにかかるが労力と時間を要する。「コンベアベルト法」は効率が良い。プローブを頂点に要員を配置する。頂点要員は全力で雪を崩し掘る。後部要員は雪を持ち上げずパドリロウ動作で雪を後ろへ運ぶ。落とさないこと。頭部・胸部を優先し酸素を入れる。講義を受けて、これまで遭遇することがなかった雪崩救助の現場状況をイメージできるようにになったが、実際にビーコン等を使って搜索できるようになるには、事前の練習が必須であることもより実感された。

記・やまびこ山学会  
近藤千加子

### 印象に残った私の登山

37

#### 「白い女王」 モンブランに登頂

M MC 岡崎山岳部

丹羽 史泰

モンブランは、フランスとイタリアの国境にそびえる標高4810mのヨーロッパアルプス最高峰で「白い女王」「白い夫人」と呼ばれ、山頂まで雪に覆われた美しい山である。

当部では00年と03年の2度登頂を試みたが、いずれも天候不良で撤退を余儀なくされた。

しかし、創部40周年記念行事として3度目の挑戦をする事になった。

8月9日 10名(男性7名・女性3名)で日本を立ち、麓のシャモニーの貸別荘へ入村。

11日シャモニーを出発し、ロープウェイと登山電車を乗り継ぎ、5時間の荷揚げで3167mのテートルースにベースキャンプを設営。

1日休養し、13日の午前2

時にベースを立ちアタック開始。月の無い真暗な岩場の急登をラテの明りを頼りにひたすら登り、2時間40分でグーテ小屋着。

ここから雪稜となるのでアイゼンを装着し、アンザイルンして進む。4301mのドーム・デュ・グーテまで登ると、遙か遠くに目指すモンブランの頂上が見えた。

廻りの山々が低く見えだし、シャモニーの街並み、氷河、針峰群等アルプスの絶景が広がる。疲労と多少の息苦しさ闘いながら、互いに励ましあい一歩一歩足を進める。

11時20分、ついに山頂に到達。3度目にしてやっと女神が微笑んでくれました。

ベースから1643mの高度差を登り切った。衣食住を共に苦しかったトレイニング、ザイルという糧と、固い絆で結ばれたワンチームのパワー、10名全員の登頂に目頭が熱くなりました。

建設業許可を取りたい、日本国籍を取得したい(帰化)、遺言を公正証書で作成したい、戸籍謄本や除籍謄本を代行取得して欲しい、任意成年後見の相談をしたい、会計記帳を頼みたい等々

### ご相談は行政書士の西山秀夫へ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21番21号  
(地下鉄・久屋大通駅から徒歩2分) 丸の内東桜ビル1004号室

TEL : 090-4857-9130  
URL : <http://www.nygs-office.com/>

ピギナーから安心して選べる三河地区  
エキスパートまで  
のプロショップ

JR刈谷駅前

## 穂高

〒448-0825  
刈谷市神明町6-408  
TEL 0566 (23) 8611  
定休日/火曜日  
営業時間/10:00~20:00



登山用品豊富!



### 中ア・冬山合宿

～デンソー山岳部～

・山城 中ア・木曾駒ヶ岳  
 ・日程 12月29日～30日  
 ・メンバー 鈴木芳（CL）、  
 装備、谷口（SL、食料）、  
 間嶋（記録、気象）

▲29日 朝7時にのんびりと刈谷を出発、コガラ登山口に10時ころ到着。天気は良く、雪の舞い上がる中央アルプスが国道19号から見えていた。10・10登山開始。最初は50分ほど林道を歩き、小さな沢を渡渉すると登山道になる。トレースはあるもののそこまですぐで固められておらず、4合目を過ぎしばらく進んだところでワカン装着する。

5合目を過ぎたあたりで下山中のパーティとすれ違う。日帰りである小屋の薪ストーブで休憩していたらしく、「小屋あったためにおきましたよ」と話を聞く。小屋の薪ス



トープに期待を膨らませ、14・45七合目避難小屋によりやく到着。5人程度の先行パーティがいた。

避難小屋に荷物をデポし、鈴木、谷口は翌日のために本草岳方面へトレースをつけに行く。50分ほど急な登りを行くと完全なノットレースになったが、その先はハイマツの生えた吹き溜まりの多い雪面で、踏み抜いてしまい進まない。16時でタイムアウトとし、小屋に戻った。本草岳・牙岩方面はその先トレースがなくアップダウンも激しいため木曾駒ヶ岳への登頂が難しいと判断、断念することとし、明日は夏道から木曾駒ヶ岳を目指すことにした。

トープで木曾駒ヶ岳をめざすとのことなので、明日5人で協力して登ると意気投合する。21時頃就寝。（谷口 記）

▲30日 朝5時に起床。夜明け前で真っ暗闇の6時にヘッドライトを点灯して、織機山岳部メンバー2名同行の5名で出発した。降雪はなく風も落ち着いていた。木曾駒ヶ岳方面へのトレースがないなか、方向を確認しながら谷口を先頭に進み、鈴木、沢田（織機、間嶋、吉田（織機））と続いた。暫くはほぼ平坦な道を進んだ。6時45分頃、ようやく空が明るくなり始め、将某頭山（木曾駒ヶ岳）に続く稜線を遠くに見ることが出来た。

出発直後は、順調であったが、段々ルートが不明瞭となった。ロープヤリボンなどの正規ルートの目印となるものが見当たらず、ルートの見定め時間がかなり、なかなかペースが上がらない。さらにはメンバーのワカンが木の枝に引っ掛かり、1つを失ってしまいうアキシデントが発生した。

9時頃、標高2540m地点にて、続行/撤退を判断する目安としていた10時を前に、進捗の遅さから撤退案が浮上したが、行けるところまで行くことにした。その判断は正しく、さらに30分ほど進

### 「ボルダリング・ジャパンカップ」

#### 佐野大輝（愛知岳連）が銀！

ボルダリング・ジャパンカップが、2月4、5日東京駒沢屋内球技場で行われ、6人による決勝で男子の佐野大輝（愛知岳連）が2位となり、4月に行われるワールドカップの出場権を獲得した。



19歳の佐野が檜崎智ら有力選手を抑え、銀メダルを手にした。シニア大会では初の表彰台。「自分のできることをすべてやりきれた」と満足げ

に語った。

4課題中2課題を完登。得点とする緩傾斜のタイプが多かったという。緊張はしたものの「イメージ通り登れた。得意な動きを決めることができてよかった」と笑顔を見せた。

愛知県東郷町出身。今季は種目をボルダリング一本に絞る予定で「W杯に出場して良い成績を残したい」と意気込んだ。（中日新聞より）

むと玉ノ窪小屋が視界に入り、目指すべきポイントが明確となった。10時10分頃、玉ノ窪小屋に到着した。稜線では雪質が固くなっていたことからアイゼンに履き替えた。小屋から木曾駒ヶ岳山頂に向けては各自淡々と登り、約1時間かけて山頂に到着した。11時10分頃、山頂にはリフト利用者と思しき先客が10人ほどいた。山頂は風が強くなり、あまりの寒さに長居はできなかつたが、快晴も相ま

て風景は素晴らしく、雪を覆った宝剣岳が特に綺麗だった。記念撮影をして下山を開始した。下山時は織機メンバー2名とは別れ、3名での山行となった。往路で付けたトレース歩きはハイペースで進むことができ、2時間ほどで7合目避難小屋に到着した。帰りでは残念ながら発見できなかった。14時頃、避難小屋内にてコーヒードで一服した後、コガラ

登山口に向けて出発した。約2時間かけて16時15分にコガラ登山口駐車場に到着した。

(間嶋 記)

■リーダー所見

本年度は、避難小屋泊とし新人等でも参加しやすいよう計画した。当日の天候は問題ない状況であったが、24日のクリスマス寒波での積雪で新雪での山行となり、各メンバーそれぞれに苦勞があり経験値を上げることができた。計画で予定していた牙岩を断念し一般ルートとなったが、ノートレースで急なトラバースを進むという気の抜けないルートは、ルートファインディング含め登り甲斐があり十分楽しめた。(鈴木 記)

南八ヶ岳で冬山合宿

〜豊田山岳会〜

杉本 日出子

合宿は雪上歩行技術の向上を目的として、1月5日〜8日に南八ヶ岳で実施した。参加者9人。3隊に分かれて行動した。

1日目A隊2人入山。美濃戸口から赤岳鉱泉へ。テント設置後ジョウゴ沢F2に下見へ。ジョウゴ沢の水は例年に比べると柔らかかった。

2日目B隊4人入山。A隊は地蔵尾根から赤岳にピーク



ハント。中岳から中岳沢を下り13時赤岳鉱泉に戻る。テント場でB隊と合流。3日目C隊3人入山。A隊B隊4人はジョウゴ沢から硫黄岳へバリエーションルート。2人はノーマルルートで硫黄岳へ。赤岩の頭で合流しテント場へ。A隊13時下山開始。4日目B隊C隊7人は地蔵尾根から赤岳ピークハント。中岳阿弥陀岳コルを下り赤岳鉱泉へ。テント撤収。14時下山開始。入山した4日間は風は弱く晴天で、絶好の登山日和だった。美濃戸口から赤岳鉱泉北沢コースは水が少なくアイゼンなしで歩けた。赤岳鉱泉からは30センチの積雪。雪はしまっていて歩きやすかった。地蔵尾根は梯子が出ているのでアイゼンを引つ掛けないよ

うに用心して進んだ。今回の合宿は、会員の体力や技術に合わせてルートを決定。厳冬の合宿に初めて参加した会員は雪山の美しさと厳しさを味わったようだ。合宿では経験豊富なリーダーから技術指導が受けられるので必ず参加している。メンバーの体調を気遣い、行動の問題をキャッチして的確な指示をしてくれるリーダーには感謝しかない。今回の冬山合宿も仲間と楽しい時間が過ごせ、安全登山で下山できたことが何よりも嬉しかった。

甲斐駒ヶ岳黒戸尾根

〜やまびこ山想会〜

日時 2月17日〜19日

メンバー C.L宮森千治、森崎幸子、中西恭子(記録)

今回の登山はゆっくり山を堪能したいと思い、余裕のある行程で2泊3日の予定を立てた。ただ天気予報は、最終日が悪天の予報だったが決行することにした。

1日目は五合目に野営の予定だ。日本三大急登と言われるだけありひたすら登りだ。登山口から20分ほど歩くと、すぐに氷と雪のミックスとなりチェーンスパイクを履く。標高1000mを過ぎるとし

っかり積雪があるがトレースがついており歩きやすい。しかし、八兆登りからはテント装備を担ぎながらだと嫌でも息があがり黙々と登る。やがて刃渡りや梯子が出てきたが、しっかりと整備されており安心して登れる。黒戸山をトラバースして本日の野営地五合目小屋跡に到着。素早くテントを設営し小宴会をして明日に備えた。2日目明るくなってから出発。天気は曇天だが、何とか登れるだろうと判断しアタック。昨日と異なり空身のため快適に登る。雪の状態が良いのでアイゼンが効き登りやすい。七丈小屋で休憩を取り、天気も微妙だったのでせめて2本剣が見える所までは目指したいと思いつつ、さらに歩を進めた。どんどんガスがかかり始めるが御来迎場までは何とか景色が眺望できた。甲斐駒山頂には暗雲がせまっていたが、時間的にも余裕があったので日本剣まで行くことにした。途中痩せ尾根やルンゼに登り、間近に本物を見た時は「漸く会えた！」とテンションが上がる。暫くするとガスがかかってきたが、天気自体はそれほど悪くなく頂上を目指す。頂上に近づくとつれがガスが濃く風も強くなったが頂上の祠を拝むことができた。ずっと憧れていた積

〜 アジア最大のスポーツの祭典 〜

**第20回 アジア競技大会**

(2026/愛知・名古屋)

日時 2026.9.19(土)〜10.4(日)

会場 瑞穂公園陸上競技場 他

主催 アジア・オリンピック評議会

雪期の甲斐駒ヶ岳黒戸尾根。山頂はもちろん貸し切りで感動にしばらく浸っていた。下山も慎重に下る。途中七丈小屋の小屋番さんに明日は悪天だから今日中に下山した方がいいとのアドバイスも限界で下山するには危険がある判断し、悪天覚悟で予定通り5合目で野営した。2日目の夜からみぞれが降り出し翌朝はなんと雨が降った。2月中旬のアルプスで雨に降られるとは思ってもみなかった。今回は非常にタフな3日間で、下山直後は「当分ここを登るのはいいや」と思ったが、思い出すのは楽しかった事ばかりで「また来年も登りたいなあ」と思っている。

### 会員が自宅に手作りのクライミングウォール

長引くコロナ禍で運動不足の解消にと、やまびこ山想会の長谷川敦さんが、自宅の倉庫の一角に手作りでクライミングウォールを設置した。

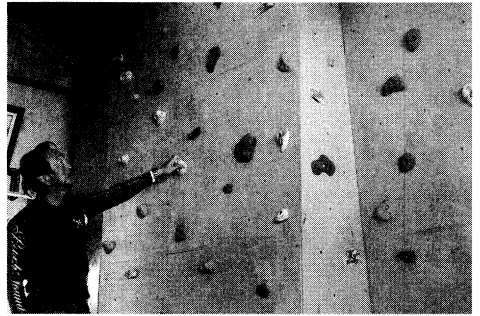
長谷川さんは「家族で楽しんでおり、会員の人にも遊びに来てもらっています」と話す。

また、周囲に長谷川さんが趣味で描いているという、山岳の油絵の力作が飾られており、雰囲気がとても良い。

### 常任理事会

▼3月7日(火) Web会議

- 1. (出席者) 伊藤会長、星副会長、北村理事長、岩瀬副理事長、西山、木田、高木、中川、栗木、佐橋、倉谷、澤、相山、今泉各常任理事
- 2. 伊藤会長あいさつ
- 3. 報告事項
- 4. JMSCA登山普及情報交換会 (Web2/11)
- 5. JMSCA全国理事長会議 (2/12東京) 北村
- 6. 登山勉強会指導員勉強会 (Web2/14) 木田、高木
- 7. 自然保護委員会 (2/21 OMC) 栗木
- 8. リードジャパンカップ2023 (2/25・26千葉) 倉、佐橋
- 9. 雪山研修会・講習会 (2/25大日ヶ岳) 木田、高木
- 10. 愛知山岳マラソン (3/4 猿投山・中止) 岩瀬



### 8. SC強化事業報告 (倉、佐橋)

- 1. 審議・お知らせ事項
- 2. 国立登山研修所R4年度冬山リッダー研修会 (3/12・17立山) 北村
- 3. 登山勉強会 (Web3/14) 木田、高木
- 4. 第5回理事会 (3/28名工大) 今泉、北村
- 5. 総会について (4/15)
- 6. 春山遭難対策会議 (4/18) 中川、有富
- 7. SC県予選兼東海SCコンペ (4/29・30安八、エインドピット) 佐橋、倉
- 8. 愛知県庁山岳会の退会届け審議 (今泉、北村)
- 9. その他
- 10. 法人化後の個人会員の取り扱いについて・愛知岳連の各種企画への参加条件について・三河地区高体連の会議の報告



### 春を待つ富士

2月も下旬になると厳冬期も過ぎ太陽が温む。いままで風雪に堪えてた富士山が紺碧の空にその雄姿を醸し出す。(山梨県鳴沢村にて S.N)



### 編集後記

■15日、立山黒部アルペンルートが開通した。10数米の雪

中ア・千畳敷で遭難  
長野県の中央アルプス千畳敷付近で8日、4人が遭難した。4人は滑落などして重傷を負ったが、全員が同日中に救助され命に別条ない。  
1人は千畳敷極楽平付近で転倒し、他の3人は千畳敷八丁坂で滑落した。  
千畳敷付近は7日の雨で雪面が凍り、滑りやすい状態になっていた。

壁の間を歩く「雪の大谷ウォーク」が人気で、コロナ禍の減少か外国人観光客が増えていられるらしい。是非、日本の山岳美を静かに堪能していただいたいものだ。  
■エベレスト登山シーズンを前にして、12日ネパール人シエルパ3人がクンブ氷瀑周辺で雪崩に巻き込まれ行方不明になっている。シエルパは亀裂が連なる氷河を安全に横断できるルートを見つける作業をしていた……。  
■まもなく日本もゴールデンウィークを迎え、春山に出かける登山者が増えてくる。雪崩やラントクルフトが危ない？ くれぐれも肝に銘じておこう。(N)

うなぎ錦三丁目 い ば しょう  
山 び 昇

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号  
TEL <052> 951-1166 番  
営業時間 午前 11:00~午後 2:30  
午後 4:00~午後 8:00  
定休日 日曜日・第二・第三月曜日



冬山装備のメンテナンス工房

冬山装備のメンテナンス アイゼン・ピッケル研ぎます

株式会社ウォームリンク  
〒470-0135 愛知県日進市岩崎台1-130  
Tel. 0561-72-2805



hareyama.net